

施策1.おでかけ交通「あいのりくん」の機能強化

1 おでかけ交通「あいのりくん」の維持・確保及び乗降場所の追加・乗降環境の整備

現在運行しているおでかけ交通「あいのりくん」を引き続き、維持・確保します。
併せて、利用者の利便性向上を目的に、乗降場所の追加やベンチの設置など乗降環境の整備に取り組みます。

2 おでかけ交通「あいのりくん」の町外乗降場所の検討

現在、町外に設定した拠点への乗り入れを実施している岩地区（山鹿バスセンターへ）、春富地区（南関町いきいき村へ）を対象に、近隣市町や交通事業者との合意形成を図りながら、町外乗降場所の追加等について検討します。

施策2.地域公共交通の運行効率化

1 ケアバス機能のおでかけ交通「あいのりくん」との連携

町立病院への送迎サービスとして運行している「ケアバス」に関して、交通資源の最適化や町全体での財政負担の軽減等を目的に、運行機能等に関しておでかけ交通「あいのりくん」との連携について検討します。

2 おでかけ交通「あいのりくん」の運行ダイヤの設定

利用者が多い時間帯（午前中の便など）を対象に、相乗り率の向上やそれに伴う運行経費の削減等を目的に、運行ダイヤ等の設定について検討します。

施策3.地域公共交通の利用促進・意識啓発

1 各種団体等(老人クラブ連合会や社会福祉協議会の通所等)の会合の場での出前講座の実施

老人クラブ連合会や社会福祉協議会の通所等、各種団体の会合の場において、路線バスやおでかけ交通「あいのりくん」の利用促進等を目的に、出前講座を実施します。

三加和小学校での
バス乗り方教室の実施例→



2 小学生等を対象とした路線バスの乗り方教室の実施

保育園や幼稚園などの園児、さらには小学生や高齢者等を対象に、バスの乗り方教室を実施します。
町内で開催されるイベントや各種団体による地域活動等の際に、地域公共交通を利用してもらう体験会を実施します。

3 広報紙等を活用した定期的な地域公共交通に関する情報発信

広報紙等を活用し、町民の地域公共交通に対する関心を高めることを目的に、定期的な情報発信を行います。
路線バスとおでかけ交通「あいのりくん」の乗り継ぎモデルケースなどに関して広報紙等で周知を図ります。

施策4.地域公共交通に関する連携・協力

1 交通結節機能の強化

路線バスとおでかけ交通「あいのりくん」の乗降場所において、ベンチや上屋等の待合環境の改善を図ります。
なお、待合環境の改善にあたっては、乗降場所が立地する施設等との連携を行います。

2 地域公共交通の運行体制の再構築

交通事業者が抱える運転手不足等の問題に対して、交通事業者間の連携、他分野の多様な関係者が連携した運行体制の再構築に関して検討します。

＜お問い合わせ先＞

和水町地域公共交通会議（事務局：和水町まちづくり課）

〒865-0192 熊本県玉名郡和水町江田 3886 番地 TEL：0968-86-5721

1 計画策定の背景・目的

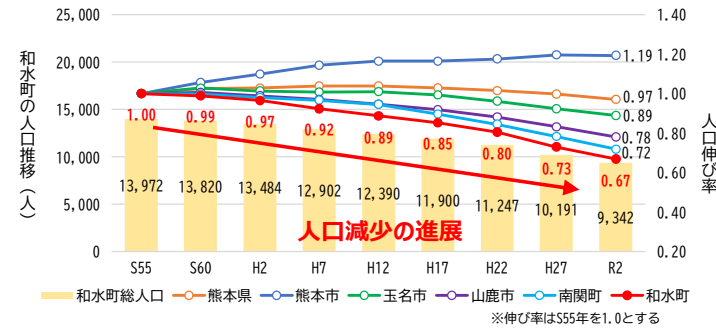
本計画は、人口減少・少子高齢化の進展などを背景に、将来に持続可能な地域公共交通サービスの実現を目指し、地域の特性や地域公共交通の利用実態、町民の生活行動・ニーズ等を踏まえ、地域公共交通の今後のあり方を示したマスタープランとして策定するものです。

4 計画の位置づけ

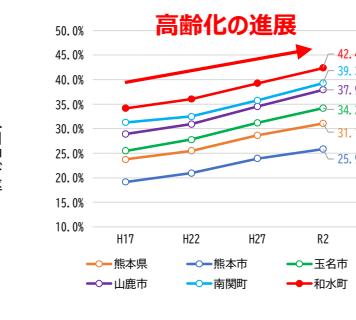
本計画は、町の総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略を上位計画に、まちづくりや観光、教育、福祉などの関連計画との整合を図りつつ策定しました。

5 和水町の現状及びニーズの把握

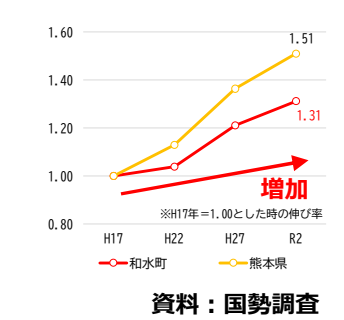
▼人口の推移（資料：国勢調査）



▼65歳以上高齢化率の推移

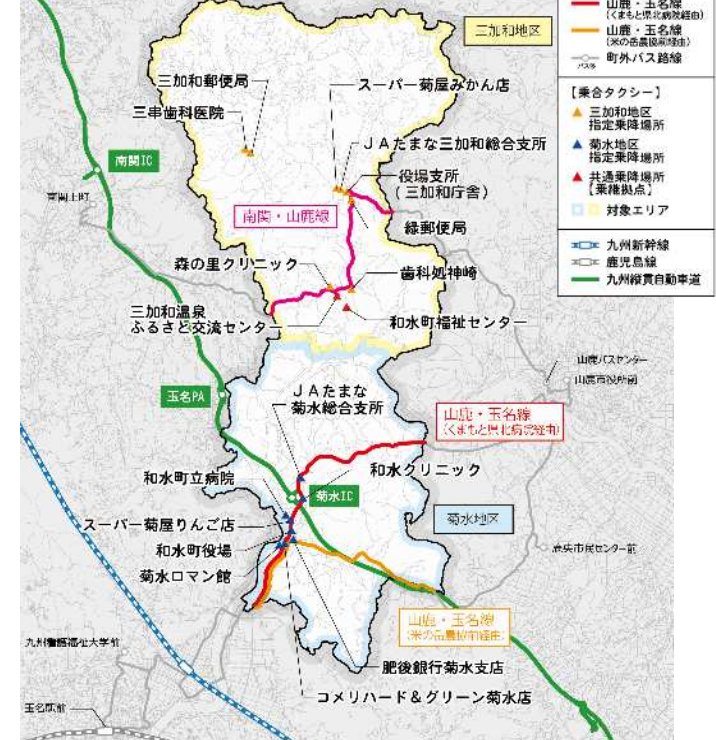


▼高齢者単身世帯数の推移

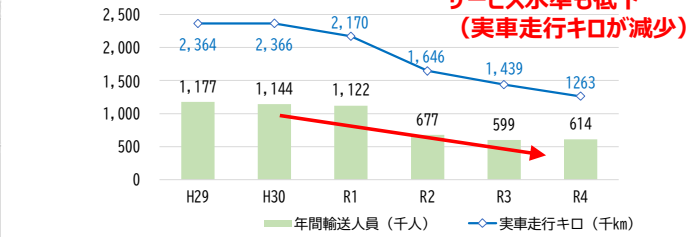


▼町内の地域公共交通体系

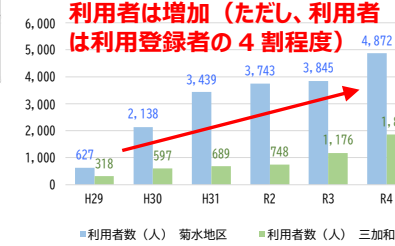
路線バス、乗合タクシー「あいのりくん」、タクシーから形成
その他、ケアバスやスクールバスが運行



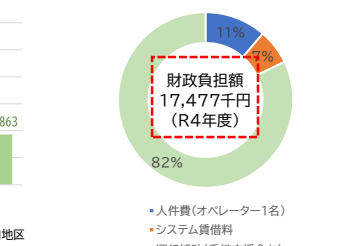
▼路線バスの利用者数等の推移



▼あいのりくんの利用者数等の推移



▼あいのりくんの財政負担額

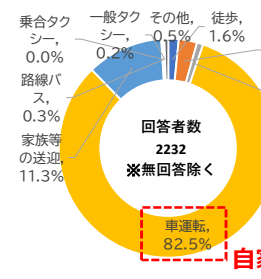


その他地域公共交通の現状

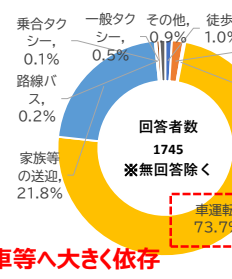
- タクシー利用者も大きく減少
- 交通事業者における運転手不足や運転手の高齢化など経営にかかる問題が顕在化
- 小学生を対象としたスクールバスが7路線運行
- 町立病院への送迎サービス「ケアバス」が5路線運行

▼町民の地域公共交通等の利用実態及びニーズ

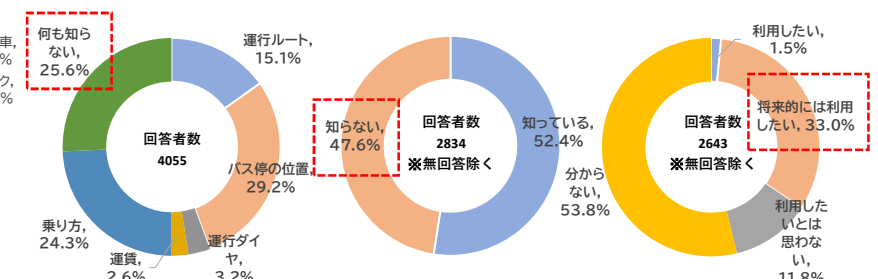
【買い物時の移動手段】



【通院時の移動手段】



【路線バスで知っている内容】【あいのりくんの認知度】【あいのりくんの利用意向】



6 地域公共交通の問題点・課題

地域公共交通の問題点

- ①移動サービスの一部サービスの重複、将来的な財政負担の増加が懸念
- ②路線バスと「あいのりくん」を乗り継いで利用することに抵抗が高い
- ③路線バス利用者が限定的で年々減少（将来的にも減少）
- ④「あいのりくん」利用者は運転免許を保有していない高齢者など一部の利用者が主で、相乗り率も低い
- ⑤高校生等の通学に対する保護者の負担等が生じている
- ⑥交通事業者における運転手不足や運転手の高齢化など事業継続が懸念
- ⑦町民の地域公共交通に対する意識は低い
- ⑧観光等の他分野との連携が未実施であるとともに、機運も低い

地域公共交通が果たすべき役割

- ①子どもから高齢者まで誰もがずっと住み続けたいと思える町の生活基盤の一つ
- ②高齢者をはじめとする交通弱者が、安全・安心に日常生活をおくることができる移動手段
- ③集落と拠点間を連絡し、生活サービスと地域活動を支える
- ④町内外の交流を支え、持続可能な圏域形成を支える
- ⑤地域コミュニティの育成など地域づくりを支える

地域公共交通の課題

課題1 持続可能な地域公共交通への再構築

- ◆路線バスや乗合タクシー「あいのりくん」、タクシー、その他ケアバス等に関して、各地域公共交通の役割分担等を明確にしつつ、地域公共交通相互のサービス連携・統廃合など、持続可能な地域公共交通に向けた再構築が必要

課題2 地域住民の地域公共交通利用促進に向けた意識の醸成

- ◆町民の日常生活における地域公共交通の利用機会の創出、さらには地域公共交通に対する啓発活動など意識の醸成が必要

課題3 他分野との連携によるおでかけ等も含めた一体的な仕組みの構築

- ◆地域公共交通サービスの提供、さらには利便性向上にあたり、教育、福祉、医療、観光など他分野と連携し、一体的な仕組みの構築が必要

7 地域公共交通計画の基本方針及び目標

基本方針

拠点を核として、町民の安全・安心な生活を支え、
町内及び町内外の交流を促進し、笑顔輝くまちづくりに寄与する地域公共交通

目標① 地域公共交通の利便性維持・向上

		現況値	目標値(令和10年度)
数値指標①	地域公共交通を利用して乗換1回以内で周辺市町へアクセス可能な地域数	町全域	維持
数値指標②	路線バスの利用者数	22,583人/年 (R4)	20,000人/年以上
数値指標③	おでかけ交通「あいのりくん」の利用者数（件数）	6,736件/年 (R4)	8,195件/年以上

目標② 地域公共交通の再構築による維持・確保

数値指標①	路線バスに関する財政負担額	24,772千円 (R4)	34,000千円以下
数値指標②	おでかけ交通「あいのりくん」に関する運行補助金	14,358千円 (R4)	21,263千円以下
数値指標③	路線バスの収支率	17.6% (R4)	15.6%以上
数値指標④	おでかけ交通「あいのりくん」の収支率	9.5% (R4)	9.5%以上

目標③ 町民の地域公共交通に対する愛着等の意識の醸成

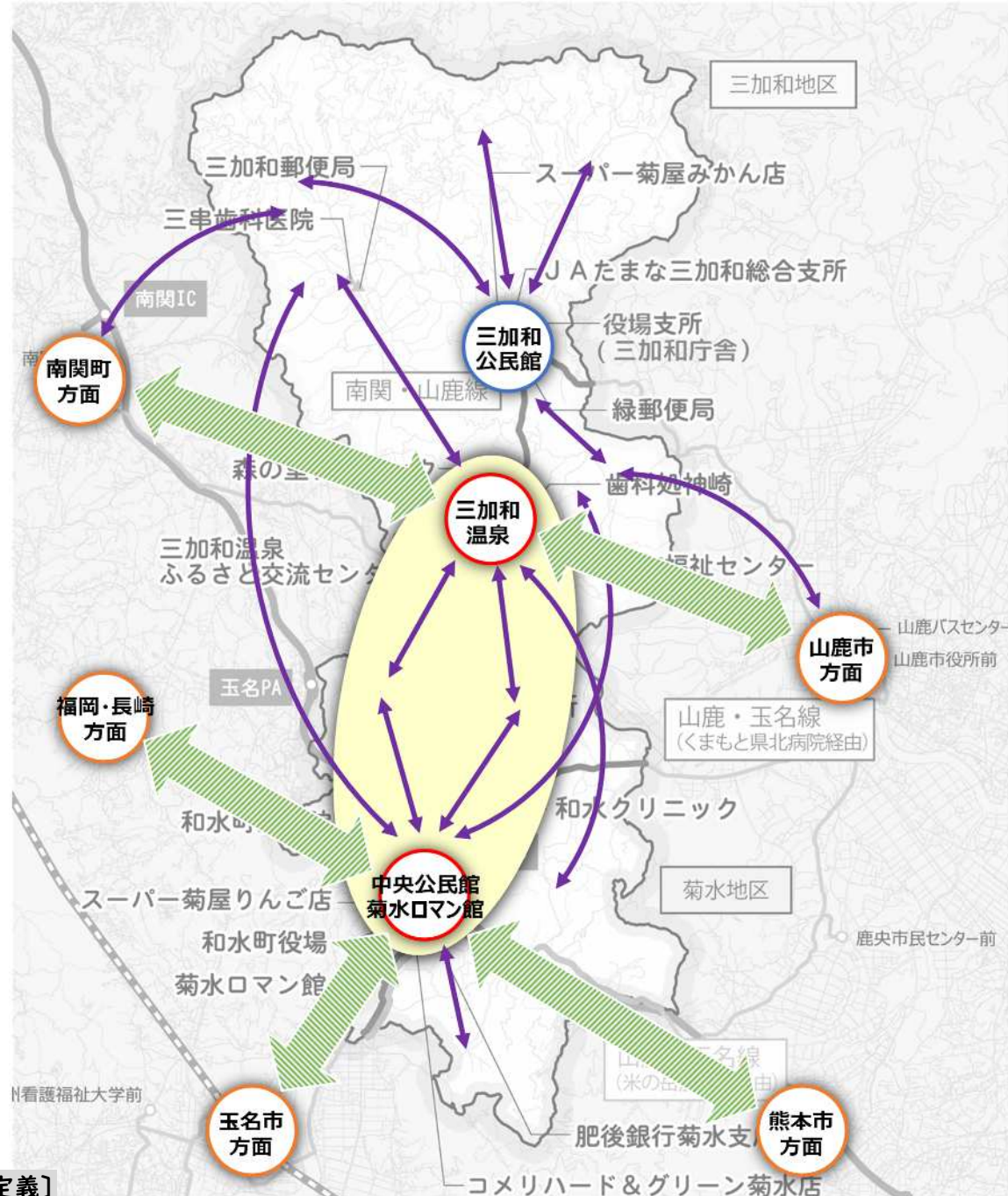
数値指標①	おでかけ交通「あいのりくん」の利用登録者数	787人 (R4)	953人以上
数値指標②	地域公共交通計画に対する認知度	8.9% (R4)	12%以上
数値指標③	おでかけ交通「あいのりくん」の認知度	41.3% (R4)	53%以上

目標④ 多様な関係者が連携した地域公共交通の利用機会の創出

数値指標①	路線バスの利用状況	2.5% (R4)	5.0%以上
数値指標②	地域公共交通利用体験等の実施件数	0件/年	2件/年
数値指標③	主要停留所における地域公共交通の利用者数	59人/週 (R4)	59人/週以上

8 目指す地域公共交通の将来像

- ◆「拠点を核として、町民の安全・安心な生活を支え、町内及び町内外の交流を促進し、笑顔輝くまちづくりに寄与する地域公共交通」を目指します。
- ◆具体的には、町内の拠点と日常生活で結びつきが強い周辺市町を連絡する移動サービスを提供するとともに、町内においては集落と拠点間を連絡する移動サービスを提供することで、将来像の実現を目指します。



【拠点の定義】

拠点名		求められる機能	拠点候補地
商業・交流・観光拠点	○	日常生活において町全体から地域住民が集まる拠点 さらには、観光客などの来訪者が訪れる拠点	菊水ロマン館周辺、三加和温泉周辺
交流拠点	○	主に地域住民の交流の場となる拠点	中央公民館、三加和公民館
結びつきの強い周辺市町	○	買い物・通院・通学など地域住民が日常生活において活動する拠点	山鹿市、玉名市、南関町、熊本市など

【地域公共交通ネットワークの定義】

路線名	交通手段	果たすべき役割	主な利用者
幹線	路線バス（高速バス含む）	・町内と周辺市町間を結び、地域住民の日常生活を支えます ・町内と町外の交流人口の移動を支えます	通勤・通学者 交通弱者の買い物・通院
支線	乗合タクシー「あいのりくん」	・町内の集落と交通結節点（拠点及び路線バスバス停）の間を結び、地域住民の日常生活を支えます	交通弱者の買い物・通院
	タクシー	・町内の集落と町民の目的地（移動先）間を結び、地域住民の日常生活を支えます	町民全般